

公益社団法人 日本地震工学会 第7回理事会議事録

A. 日 時：2014年3月13日（木）17時00分から21時30分

B. 場 所：建築会館308会議室（東京都港区芝5-26-20）

C. 出席者：（会 長） 安田 進

（副 会 長） 当麻純一、山崎文雄、福和伸夫

（担当理事） 福喜多輝、新海 元、矢代晴実、和泉信之、加藤研一、年縄 巧、
富田孝史、久田嘉章、古屋 治、鳥井信吾、境 茂樹、田村敬一、
塚本良道

（監 事） 五十嵐克哉

（欠 席） 清野純史、横井俊明、松田 隆

オブザーバー出席：嶋原 毅事務局長、吹野美絵

D. 提出資料

資料 07-01 第6回理事会議事録確認（新海理事）

資料 07-02 会務報告（福喜多理事）

資料 07-03 会計報告（矢代理事）

資料 07-04 時期会長候補選挙結果報告（加藤理事）

資料 07-05 法人会員勧誘について（福喜多理事）

資料 07-06 メール審議報告（寄附制度について）（新海理事）

資料 07-07 寄附募集・ご寄附者名・公開方法について（福喜多理事）

資料 07-08 東日本大震災合同調査報告＜共通編1 地震・地震動＞刊行について（福喜多理事）

資料 07-09 入退会者（加藤理事）

資料 07-10 共催・後援・協賛等（新海理事）

資料 07-11 監事の選任について（選挙規程第21条）（加藤理事）

表彰について

資料 07-12-1 (1)功績賞（福喜多理事）

資料 07-12-2 (2)功労賞（福喜多理事）

資料 07-12-3 (3)論文奨励賞（年縄理事）

資料 07-13 名誉会員の推挙について（福喜多理事）

資料 07-14 平成26年度事業計画（案）（定款第36条）（新海理事）

資料 07-15 平成26年度収支予算書（案）（定款第36条）（和泉理事）

資料 07-16 次期理事会理事候補者の選考（福喜多理事）

資料 07-17 次期選挙管理委員会委員候補者の選考（加藤理事）

資料 07-18 次期役員候補推薦委員会委員候補者の選考（福喜多理事）

資料 07-19 事務処理規程（修正）について（新海理事）

資料 07-20 受託研究取扱細則について（福喜多理事）

- 資料 07-21 事業企画等の実施に関する申し合わせについて（福喜多理事）
- 資料 07-22 総会での基調講演について（鳥井理事）
- 資料 07-23 会誌編集委員会からの報告（久田理事）
- 資料 07-24 論文集編集委員会からの報告（年縄理事）
- 資料 07-25 情報コミュニケーション委員会からの報告（富田理事）
- 資料 07-26 首都直下地震に対する日本地震工学会としての対応（安田会長）
- 資料 07-27 役員規則改定について（加藤理事）

議案に先立ち、安田会長より、監事の田蔵隆氏ご逝去の報告がなされた。

E. 議題

E 1. 報告事項

1) 第 6 回理事会議事録案確認（新海理事、資料 07-01）

第 6 回理事会議事録案について承認された。

2) 会務報告（福喜多理事、資料 07-02）

「会務報告（12 月 18 日～3 月 13 日）」の報告がなされた。

3) 会計報告（矢代理事、資料 07-03）

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 5 日までの決算額と、3 月 6 日から平成 26 年 3 月 31 日までの決算見込みについて報告がなされた。

・今年度の決算見通しで「図書類の頒布」「寄付募集」の効果により収入の改善がなされる見通しとなったが、トータルで見ると依然として支出が多くなる見通しである。

なお、正会員の会費未納者（48 名）に対する再督促の請求をすることとした。

4) 次期の会長候補選挙結果のお知らせ（加藤理事、資料 07-04）

次期会長候補者に、正会員 目黒公郎氏（東京大学生産技術研究所）が選出された報告がなされた。

5) 法人会員勧誘について（福喜多理事、資料 07-05）

法人会員勧誘のため、約 40 社に入会案内を送付した旨報告がなされた。

6) メール審議報告（寄附募集）（新海理事、資料 07-06）

「寄附制度の設置」についてメール審議を実施した旨報告がなされた。

7) 寄附募集・ご寄付者名・公開方法について（福喜多理事、資料 07-07）

「寄附制度の設置」に伴って、「寄附のお願い」を学会ホームページに掲載した旨報告がなされた。なお、ご寄附いただいた方の公表方法については、学会誌の 6 月号にお名前を記載することが確認された。

8) 東日本大震災合同調査報告＜共通編 1 地震・地震動＞刊行について（福喜多理事、資料 07-08）

「東日本大震災合同調査報告＜共通編 1 地震・地震動＞」の刊行（1000 部）がなされた旨報告がなされた。

E 2. 議 案

9) 入退会者（加藤理事、資料 07-9）

2014 年 3 月 13 日現在の入会退会者の報告がなされた。入会者は正会員 8 名、学生会員 1 名、法人会員 3 社、退会者（逝去者含）は正会員 8 名、学生会員 2 名、復活正会員 2 名、転格（学生から正会員）正会員 2 名が承認された。

以上の結果、個人会員数は、名誉会員 28 名、正会員 1,133 名、学生会員 162 名で、総数は個人会員 1,323 名、法人会員 96 社となることが確認された。

10) 共催・後援・協賛等（新海理事、資料 07-10）

共催(1 件)、後援(2 件)が承認された。

後援：「地盤の動的解析」（主催：地盤工学会）

後援：「液状化フォーラム 2014」（主催：茨城大学 地球変動適応科学研究機関）

共催：「第一回理論応用力学シンポジウム 2014」（主催：日本学術会議）

11) 監事の選任について（選挙規程第 21 条）（加藤理事、福喜多理事、資料 07-11）

加藤理事、福喜多理事より、田蔵監事の急逝に伴う、後任の監事の考え方について資料 07-11、「監事の選任について（選挙規程第 21 条）」により以下の報告がなされ、後任の選任について実施することの承認がされた。

- ・監事が任期中の退任の場合は、次点者をもって充てることとなっている（選挙規程第 21 条）。
- ・監事の選任数は 2 名以内となっており、1 名でも定款には反しない。
- ・現行は、会長選挙と監事選挙を隔年で交互に実施しているが、選挙実施に関する経費や負荷の点を勘案すると同時選挙が望ましいと考える。

これに対して、以下の内容が確認された。

- ・2017 年度 6 月以降の会長と監事は同時選挙で選出する（選挙実施は 2016 年度内）。
- ・（故）田蔵監事の後任は 2015 年 5 月末までの残任期間となるが、次点候補者に監事を承諾いただけるかどうか安田会長、加藤理事、福喜多理事で打診する。
- ・次点候補者の承諾をいただけない場合は、五十嵐監事に 2015 年 5 月末までの任期中、一人で監事職を遂行していただくように安田会長からお願いをする。
- ・今後、社員総会議事録には次点者の氏名を明記することとする。

12) 平成 25 年度業績表彰について

(1) 功績賞（福喜多理事、資料 07-12-1）

平成 25 年度「功績賞」2 件の表彰者が承認された。

(2) 功労賞（福喜多理事、資料 07-12-2）

平成 25 年度「功労賞」2 名の表彰者が承認された。

(3) 論文奨励賞（年縄理事、資料 07-12-3）

平成 25 年度「論文奨励賞」2 名の表彰者が承認された。

なお、論文奨励賞と論文賞の選考は同時が望ましいことから、以下のように進めることが確認された。

- ・次年度から論文の対象月は 8 月分までとし、10 月応募開始、その後論文奨励賞と併せて 3 月

の理事会承認というスケジュールに変更する。

13) 名誉会員の推挙について（福喜多理事、資料 07-13）

「名誉会員の推挙について」の報告がなされ、候補者推挙は、隔年で総会にて行うことが承認された。

14) 平成 26 年度事業計画（案）（定款第 36 条）（新海理事、資料 07-14）

「平成 26 年度事業計画（案）（定款第 36 条）」の報告がなされ承認された。

15) 平成 26 年度収支予算書（案）（定款第 36 条）（和泉理事、資料 07-15）

「平成 26 年度収支予算書（案）（定款第 36 条）」の報告がなされ承認された。

なお、予算執行にあたっては以下を留意することが確認された。

- ・受託研究など外部資金の獲得
- ・財政状況を鑑み、各委員会の予算執行状況の確認を行うため会計担当を決める。
- ・現状の収支状況を勘案し、現状に即した予算執行を実行する。今後は収支均衡の原則を保持し、将来は繰越金を維持していくような状況が必要である。
- ・対応としては外部資金獲得、法人会員会費増額の検討を行うことが確認された。

16) 次期理事会理事候補者の選考（福喜多理事、資料 07-16）

平成 26 年度理事について、任期満了により退任する副会長 1 名、理事 7 名の後任理事候補 22 名が推薦され理事の役職配置、専門分野、推薦理由等が確認され候補者の選任を行い承認された。

17) 次期選挙管理委員会委員候補者の選考（加藤理事、資料 07-17）

平成 26 年度選挙管理委員会委員候補者 4 名が承認された。なお、候補者 4 名はいずれも平成 26 年度まで任期継続である。

18) 次期役員候補推薦委員会委員候補者の選考（福喜多理事、資料 07-18）

平成 26 年度役員候補推薦委員会委員候補者の 4 名が承認された。なお、次期副会長候補者と重複する 1 名分の欠員については、役員候補推薦委員会にて改めて選出することにした。

19) 会員規則改定について（加藤理事、資料 07-27）

第 5 回理事会にて決議した学生会員会費の値上げに伴う「会員規則」改訂について承認された。

改定：会員規則（会費）

第 8 条 会員は、次の会費（年額）を納入しなければならない。

学生会員 1,000 円から 3,000 円にする。

3 学生会員が引き続いて正会員になる場合は、正会員 1 年目の会費を 3,000 円とする。を削除する。

20) 事務処理規程（修正）について（新海理事、資料 07-19）

「事務処理規程（修正）」の報告がなされ承認された。

21) 受託研究取扱細則について（福喜多理事、資料 07-20）

「受託研究取扱細則」について報告がなされ、第 8 条 2 項を「一般経費は受託研究費総額に対して一律 25%とする。」に変更し承認された。

22) 事業企画等の実施に関する申し合わせについて（福喜多理事、資料 07-21）

「事業企画等の実施に関する申し合わせについて」の報告がなされ、第 4 条(3)を「事業等の開

催に要する収入経費の25%を諸経費(管理費)として計上すること。」の修正を行い承認された。

なお、各委員会のインセンティブの向上のために、調査研究委員会規程と同様に講習会等を開催した場合は、管理費を考慮したその成果益の二分の一を上限として、次年度の当該委員会(研究・事業企画)の活動費に計上できることを明文化すべき検討を進めることとした。

E 3. 懇談事項

23) 総会での基調講演について(鳥井理事、資料 07-22)

平成25年度社員総会の基調講演に本会元会長、名誉会員の鈴木浩平先生(首都大学東京名誉教授)に依頼、承諾を得た旨報告がなされた。

24) 会誌編集委員会(久田理事、資料 07-23)

会誌22号の目次(案)として、特集:南海トラフ地震に対する被害想定、シリーズ東北ナウ、学会ニュース、研究委員会の掲載を予定している旨報告がなされた。

25) 論文集編集委員会(年縄理事、資料 07-24)

「英文論文集」進捗状況の報告がなされた。今後、過去に論文賞を取得された方にも英文投稿の働きかけを行うことが確認された。

26) 情報コミュニケーション委員会からの報告(富田理事、資料 07-25)

「情報コミュニケーション委員会」の報告がされ、News Letter3月号、News Watch、JAEE Newsについて進捗状況の報告がなされた。

27) 首都直下地震に対する日本地震工学会としての対応(安田会長、資料 07-26)

安田会長より「首都を襲うと危惧されている地震に対する日本地震工学会としての対応」として以下の内容について報告がなされた。

- ・首都を襲う可能性の高い中程度の揺れとなる現実的な地震に対して、詳細な被災予測、予防方法、発災後の対応方法などを検討するために、地域に密着した特別な検討委員会を開き、その成果を住民や商店、民間企業、ライフライン企業、自治体に還元し、社会貢献を行うことを目指す。

- ・委員会は、日本地震工学会内に平成26年度から2年間、会長特別委員会として組織する。

なおこの研究は、会長直轄の特別委員会となるので、これに関する規程類を作成する必要があることから今後検討することとした。

次回予定:日時:平成26年4月18日(金) 17:00より

場所:建築会館308会議室

記録担当:総務理事 新海 元